

ぼく・わたしの おすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会



世界の〇×図鑑

作：ウソホント調査隊 (文響社)

大人も超なやむウソとホントが60問も、のっています。しかも、いつ読んでも、「これって本当かな。」と、ワクワクします。ちなみに答えには「ホント!」と「ウソ!」と「どちらともいえる」つまり、〇・×・△があるということです。学校に行っても、「世界の〇×図鑑、読みたいなあ。」と思うくらい、面白くて「へー、そうなんだ」と、知ることができるので、ぜひ読んでみてください。



須坂小学校5年松組

みやざわ こうすけ
宮澤 昂佑 さん

ぼく・わたしの おすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会



もののけ屋 一度はあいたい妖怪変化

作：廣嶋玲子 (静山社)

もののけ屋は50メートル走でかちたいと願っていると、なぞの男からもののけを貸してもらえます。もののけは願いごとや悩みごとをかいけつしてもらえます。ただし、貸してもらうまえにけいかくをしてやくそくをまもればいいことが、まもられなければわるいことがおこるものがたりです。



森上小学校5年仁組

かねこ ゆうと
金子 侑永 さん

ぼく・わたしの おすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会



コミック版 世界の伝記

ヘレン・ケラー

作：三浦拓也 (監修) (ポプラ社)

ヘレン・ケラーは、小さい時に両目の視力をうしなった。だが、目が見えたころをおぼえていて、パンが欲しい時は、バターをぬるまねをしてパンをもらっていて、私はヘレン・ケラーはすごいと思いました。部屋にだれかが入って来た時も、すぐだれかわかったのです!!とてもすごいと思いました。目が見えないのに、わかってすごいと思います。私には気持ちはわからないけれど、とにかくとてもつらい事が感じられました。



森上小学校5年仁組

こみやま かなで
込山 愛奏 さん

ぼく・わたしの おすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会



いちにちおこめ

作：ふくべあきひろ (PHP 研究所)

ぼくがおすすめするのは、「いちにちおこめ」です。この本を書いた人は、「いちにちおもちゃ」「いちにちのりもの」などいちにちシリーズを書いています。この本はおもしろくて、勉強になります。主人公がお米に疑問をもって自分が米になってみる話です。ぜひ読んでみてください。



森上小学校5年仁組

なかじま
中島 けいと さん

ぼく・わたしの おすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会



いぬほん

作：今泉忠明 (西東社)

犬の行動や考え、しゅうせいなど犬のほんねが分かる本です。どうして？と、ぎもんに思っていること、マンガかいせつを読めばすぐに分かります。目や耳、しせいなど体にあらわれる犬の気もちのイラストかいせつでわかりやすい!!
この本を読めば、知らなかった犬の気もちが分かるかも!?



ぼく・わたしの おすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会



フリスムハーツ

作：神代明 (集英社みらい文庫)

この本の主人公はミリー。明るくて前向き。シスターにあこがれて、いなかから首都にきた。わけあって大事な受験票が入ったトランクがぬすまれちゃった!?! てがかりを探しているうちに、おなじく受験票をぬすまれちゃった2人の女の子ジゼルとフェリシアに出会う。ミリーたちはぶじに受験票を取りもどせるのか。ドキドキのてんかい、ぜひよんでみてね。



森上小学校5年仁組

はらだ るか
原田 琉詩 さん

ぼく・わたしの おすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会



デルトラ王国探検記

作：エミリー・ロッタ (岩崎書店)

この話は、デルトラという竜が住む地を「ドラ」 という人が探検するというものです。デルトラは7つの地に分かれていてそれぞれの地の護り手ごと、竜の歌があります。その「竜の歌」には、それぞれある言葉がかくされています。そのなぞをすべて解いていくと…。そのなぞをすべて解いていった最後のなぞはこの本を読んで確かめてみてください。ぜひ、この本を読んでみてください。



森上小学校5年仁組

ゆもと あさひ
湯本 朝陽 さん

ぼく・わたしの おすすめの本

須坂市子ども読書活動支援研究会



名探偵コナン 空想科学読本

作：柳田理科雄 (小学館)

この本は、「名探偵コナン」の疑問を科学で大検証した小説だ。たくさんの疑問があるが特にぼくが好きなのは「怪盗キッドの『エンタメ技』がナゾすぎる!」だ。ぼくは、怪盗キッドが大好きで毎回エンタメ技に圧倒される。変装、着替え、トランプ銃の3つを大検証!他にも疑問がたくさんあってとてもおもしろいのでぜひみんなも読んでみてください。



仁礼小学校5年仁組

こばやし とう
小林 塔 さん

ぼく・わたしの おすすめの本



最高のともだち

作：草野たき（講談社）

「最高のともだち」はとても感動する本で一番感動する場面は、P156～201ページです。「リクの最悪」と言うところがショックで「ぼくの人生はもうないと思っていた。」と言う時、わたしはなきそうになったけど、この小説は少しながいおはなしだけど、わたしはこのお話は、色々な感じようがあっておもしろいお話です。

森上小学校5年智組

しのはら わわ
篠原 環々 さん

ぼく・わたしの おすすめの本



ナルト白の童子、血風のきん

作：岸本斉史（集英社）

ナルト・サスケ・サクラ・カカシ VS ざぶざ・白とたたかうシーンがかっこよくてだいすきです。とくに、ナルト・サスケと白がたたかうシーンがとくにすきです。



ぼく・わたしの おすすめの本



やなせたかし物語

作：やなせスタジオ（フレーベル館）

やなせたかしの弟が、せんそうでなくなってしまったのはざんねんだったけどでも、やなせたかしは、あきらめないで本を書いたけっか、めっちゃゆうめいな人になったのがすごいとおもった。アンパンマンのマーチが一番好きな曲なので、ぜひもっとアンパンマンを作ってください。

森上小学校5年智組

きたむら だいが
北村 大芽 さん

ぼく・わたしの おすすめの本



映画 ひつじのショーン

バック・トゥ・ザ・ホーム

ひつじたちとかいへいく

作：アードマン・アニメーションズ（金の星社）

ショーンのいたずらでぼくじょうぬしがゆくえふめいに!?とかいにさがしにむかったショーンたちだけど、きけんがいっぱい。はたしてショーンたちは、ぼくじょうに、かえられるか。そういうところがおもしろいです。ぜひよんでみてください。



森上小学校5年智組

たこう そうし
田幸 奏志 さん

ほく・わたしの おすすめの本

須崎市子ども読書活動支援研究会



かがみの孤城下

作：辻村深月（ポプラ社）

家にとじこもっていた、こころさんが部屋の中の鏡に入れてびっくりしたし、Xのしるしをさいごに見つけて、カギをゲットしてアキさんをたすけていてかんだうした。



森上小学校5年智組

みすの えいた
水野 瑛太 さん

ほく・わたしの おすすめの本

須崎市子ども読書活動支援研究会



霧島くんは普通じゃない

作：麻井深雪（集英社みらい文庫）

見てて思ったことは、この本をみてる時に、ハラハラドキドキするかんじょうになったりしてとてもびっくりして、みてる時に目がはなせないかんかくになって、とてもおもしろいです。この本は、れんあい、バトルとかがいっぱいあっておもしろいです。この話は、人間とヴァンパイアがかかわってておもしろいし見ててかんだうしたりするからおもしろいです。



森上小学校5年智組

いわふね
岩船 ゆい さん

ほく・わたしの おすすめの本

須崎市子ども読書活動支援研究会



僕のヒーローアカデミア

THE MOVIE - 2人の英雄 (ヒーロー) -

作：小川 暁（ノバライズみらい文庫版）

この本は、緑谷出久とオールマイトが招待を受け、一万人以上の科学者たちが住む海外の人工島・I・アイランドに行く物語です。そこではオールマイトの親友デヴィッドとの再会や緑谷出久の同級生も登場します。そして、緑谷出久と同じ無個性の少女メリッサとも出会い、パーティーにいくが敵がきて緑谷出久たちがたちむかう物語です。とてもおもしろいのでぜひ読んでください。



森上小学校5年智組

まつしま
松島 もも さん

ほく・わたしの おすすめの本

須崎市子ども読書活動支援研究会



ロビンソン・クルーソー

作：ダニエル・デフォー（学研プラス）

とてもおもしろいサバイバル物語でした。しげきがあるものを読みたいときにおすすめで、一人だけで無人島で生きるロビンソン・クルーソーは、たして無人島からだっしゅつできるのか。いろいろな知恵や工夫をこらして必死に生きるロビンソンに生きる力をもらえます。



森上小学校5年智組

ほさか はなの
保坂 華希 さん